

質問

新型コロナウイルスで医療機関は大変そうです。だから、しばらくがん検診は控えています。このまま放置しておいてもいいのですか。

コロナ下で検診控え



宮本 弘志
徳島大学病院
消化器内科准教授

回答

現在、日本での死亡原因の第1位はがんです。がん検診は、科学的にがん死亡率の減少が検証されています。そのため国を挙げて受診を啓発、推進しているのです。

胃がん、子宮頸がん、肺がん、乳がん、大腸がんの主な5種類について、がん検診が推奨されています。がん検診の目的は、がんを早期発見すること。そして適切な治療を行って、がんで死亡する人を減らすことです。

しかし、新型コロナウイルスの影響で、がん検診の受診者数が減少しています。公益財団法人日本対がん協会のアンケート調査によると、主な5種類のがん検診受診者数は、2019年と比べて、20年は27・4%減少しました。21年は、20年と比較すると23・5%増加したものの、19年と比べると、10・3%減っています。つまり、質問者と同じ

進行状態で発見の恐れ



ように、新型コロナウイルスの影響で、受診控えをしている人がいるようです。近年徐々にがん検診の受診者は増加傾向にあるのですが、一度も受けていない人もいます。そこで心配するのが、

進行したがんの状態で見つかる人が増えるのではないかとことです。

がん何でもクイズ

患者の遺伝子変異を調べ、その人の体質や病状に合わせた治療を行う医療を何とよいか。

- ①オーダーメイド医療
- ②がんゲノム医療
- ③先進医療

行こうよ！がん検診



県が作製したがん検診の啓発のぼり

主な5種類のがん検診受診者数



感染対策徹底し受診を

医療施設やがん検診の会場では消毒の徹底、3密(密閉、密集、密接)の回避、室内の換気といった感染対策を講じながら、がん検診を実施しています。

しばらくがん検診を受けていない人や様子見をしている人は、積極的ながん検診の受診を勧めます。(第4土曜掲載)

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442

(平日午前8時半から午後5時まで)



また、日本全体での結果は公表されていません。それでも幾つかの医療施設からは、進行がんが増えているとの報告があります。

がんの発生率が急に減ることは考えにくいいため、がん検診はコロナ下であっても推奨されます。

がん検診の実施については、日本総合健診医学会、日本人間ドック学会、日本対がん協会などがガイドライン「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策」を作成しています。また、厚生労働省や各学会も感染対策について報告を出しています。